

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	休日救急歯科診療補助金	開始 年 度	昭和58年度
団 体 名	一般社団法人 函館歯科医師会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	休日および年末年始における救急歯科診療は、昭和57年12月に試行し、市民の好評を得て昭和58年度から歯科医師会会員の歯科診療所で輪番制により本格開始し、スタートと同時に補助を開始してきた。平成15年度からは市総合保健センター内に開設した口腔保健センターにおいて診療場所を固定化して実施しているが、診療報酬だけでは賄えないため、口腔保健センターを運営する函館歯科医師会に対して補助を継続している。
目 的	(目 的) 休日における救急歯科診療体制を確保する。
・ 効 果	(効 果) 救急診療体制の確保により市民の健康保持に寄与する。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	預金取崩他	計
		市	その他					
収 入	26	1,584	256	7,944			129	9,913
	27	1,584	256	7,775			1,443	11,058
	28	1,584	256	7,211			1,365	10,416
	29	1,584	256	7,140			598	9,578
	30	1,584	259	7,816			29	9,688
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	その他諸費		計
	26	7,729	630	1,368		186		9,913
	27	8,673	830	1,361		194		11,058
	28	8,077	840	1,308		191		10,416
	29	6,916	573	608		1,481		9,578
	30	6,866	626	1,109		1,087		9,688

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	休日救急歯科診療補助金
----------------	-------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	休日（日曜、祝日）および年末年始の救急歯科医療体制の確立は、市民の健康保持に重要であることから、公益性および市民ニーズが高い。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	休日における市民の救急歯科診療の確保のために必要である。なお、一部の歯科医院では日曜診療を行っているが、平日に通院できない患者の予約診療のため、救急患者の受け入れが困難な状況である。祝日、年末年始は診療している歯科医院がほとんどない状況である。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	事業の実施主体である歯科医師会も運営努力しているが、診療報酬だけでは賄いきれない。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	市民の救急歯科医療体制の確立という観点から有効である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	補助金の算定にあたっては、次年度の事業計画を適正に審査し、その収支不足相当額を補助している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	休日救急歯科診療補助金
----------------	-------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

平成28年度	診療日数および受診者の予定数	71日	984人
平成29年度	診療日数および受診者の予定数	71日	900人
平成30年度	診療日数および受診者の予定数	72日	930人

(達成状況)

平成28年度	診療日数および受診者の実績数	71日	897人
平成29年度	診療日数および受診者の実績数	71日	913人
平成30年度	診療日数および受診者の見込数	72日	945人

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。

(評価)

- ☒ 十分効果をあげている
☐ 一定の効果をあげている
☐ 効果が疑問である
☐ その他

(理由)

一般の歯科診療所における救急患者の受け入れが困難な日曜日・祝日・年末年始に年間延べ約900人の救急歯科診療を行っており、市民の健康の保持増進に寄与している。

○今後の方向性

- ☒ 現行のまま補助を継続
☐ 見直したうえで補助を継続
☐ 廃止
☐ その他

(見直しの内容)

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和 3 年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和 3 年度